

令和 7 年 6 月 11 日

長野県知事 阿部 守一 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和6年度から 令和7年度	
会 社 名	株式会社 竹原重建	
住 所	〒386-1102 長野県上田市上田原1195-1	
代 表 者 名	代表取締役 竹原 健二	
業 種	製造業 ・ ○建設業	
処 理 施 設	施設名	所 在 地
所 在 地 (処理施設を有する場合)	原峠中間処理場	長野県上田市上田原1957番地1他
	殿城最終処分場	長野県上田市殿城宿組877番1他
担 当 部 署	業務部	
担 当 者 名	竹原 英典	
連 絡 先	T E L	0268-24-6974
	F A X	0268-24-6881
	電子メールアドレス	hide@takehara-net.co.jp
ホームページアドレス	http://www.takehara-net.co.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、人と自然にやさしい豊かな社会づくりに貢献する為、減量化の推進と適正処理を図る。適正な処理を実践するにあたり、事業活動の段階から出来得る限り環境への負荷を少なくするために環境保全活動を行う。その為に、廃棄物の管理システムの構築と削減目標を定め、徹底する。

ISO14001の基本理念と行動指針に基づき、事業所内に環境方針を掲示し周知するとともに、HP等で積極的に開示し、環境保全活動に理解を求める。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	令和 7 年度目標値	令和 6 年度実績値	令和 5 年度実績値	令和 4 年度実績値
総排出量の推移 (㊦・kg・m ³)	6,500.00	6,433.00	5,553.86	10,013.23
リサイクル量の推移 (㊦・kg・m ³)	6,300.00	6,224.94	5,287.33	9,650.26
売上高の推移 (円)	650,000,000	580,000,000	600,000,000	747,694,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開を引き続き行っていく。
(中間処理場・最終処分場ともに年2回程度実施予定)
- ・処理場周辺の不法投棄撲滅に向けて、定期的にパトロールを実施し、不法投棄を発見した際には、関係機関に迅速に通報すると共に、必要があれば撤去処理に協力する。
- ・処理を委託する処理業者の現地確認を定期的実施する。(年2回以上)
- ・廃プラスチックのリサイクル率向上の為に、回収段階からの樹脂毎による分別をより徹底していく。
- ・毎月の社内全体かいぎにおいて、施設管理者や技術管理士を講師役として勉強会を実施する。
- ・ISO14001 で定めた方針や SDGs で定めた目標を達成する為に出来得る事をしていく。

以下の観点も参考としていただいて構いません。(必要に応じ写真等を添付してください。)

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品(材料)使用量／全体材料使用量(%)

製品(材料)種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和7年度目標値	令和6年度実績値	令和5年度実績値	令和4年度実績値
路盤材	100.0	100.0	100.0	100.0
埋戻し材	100.0	100.0	100.0	100.0
インターロッキング	25.0	0.0	0.0	実績なし
擬木	10.0	0.0	0.0	実績なし
全 体	58.75	50.0	50.0	50.0